

JFE バラストエース 北米航路就航船に採用
～カナダ最大船主 FEDNAV 社より 12 隻分受注～

JFE エンジニアリング株式会社(本社:東京都千代田区、社長:狩野久宣)はこの度、FEDNAV LIMITED 社(本社:Canada, Montreal、社長:Paul Pathy、以下 FEDNAV 社)より、同社が 2016 年までに建造する新造船 12 隻へ搭載するバラスト水処理装置を受注致しましたので、お知らせします。

バラスト水規制については、2004 年に国際海事機関(IMO)が管理条約を採択し、まもなく発効要件を満たす見通しです。当社のバラスト水処理装置「JFE バラストエース」は、2010 年に IMO の型式承認を取得し、これまでに 700 を超える採用実績を有しています。

一方、アメリカ沿岸警備隊(USCG)は、さらに厳しいバラスト水規制を打ち出しており、北米に就航する船は、その基準を満たした処理装置の搭載を義務付けられています。しかし、現時点では USCG が型式承認した装置はなく、IMO の基準を満たす装置を搭載した船舶について 5 年間の就航を認められています。当社は、USCG の型式承認申請を進めており、本年 6 月より陸上試験を実施し、その後今年度中に船上試験を開始する予定です。

FEDNAV 社はカナダ最大の船主で、USCG 規制下にある北米五大湖に主要航路を持っています。このため、同社は早い段階からバラスト水処理について独自に調査し、性能評価を重ねてきました。その結果、当社 JFE バラストエースの性能が高く評価され、2016 年までに同社で建造する新造船への搭載が決定されました。また、既存保有船への搭載も検討されています。

当社は USCG 規制に対する当社バラスト水処理装置の有効性を、FEDNAV 社の協力を得て実証し、北米航路を有する世界の船主への採用提案を推進してまいります。

当社は今後もあらゆる船種・船型・航路に最適なバラスト水処理システムをご提案し、世界の海洋生態系の保全に貢献してまいります。

* 受注概要

注文主(船主)	FEDNAV LIMITED	
搭載隻数	12 隻(35,000DWT 型バラ積み運搬船)	
搭載時期	7 隻:2015.5~2016.6(建造中)	5 隻:2017 年秋以降(就航後ドライドック時)
建造造船所	大島造船所(長崎県西海市)	

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室